



経腸栄養剤の水分量について

経腸栄養剤100mlの水分量は100mlであると誤解されることがありますが、経腸栄養剤の水分量は輸液と違って、総量＝水分量ではありません。これは、製品に含まれる糖質やたんぱく質、脂肪の分だけ水分が少なくなっているためです。

また、高濃度の製品になるほど、含まれる水分量は少なくなります。栄養剤に含まれている水分だけでは必要水分量が充足できない症例が多いため、経腸栄養法を行う際には、製品ごとの水分を考慮し、適切な水分量を計算して投与しましょう。



○一般的な成人の場合の水分必要量

1ml/kcal (または 30~40ml/kg体重)

* 水分損失の大きい発汗、嘔吐、下痢がある場合等は損失量を考慮する

○標準的組成の栄養剤 (1.0kcal/ml) の水分量

サンエツSA、MEINなど **水分 約85%**

当院採用の栄養剤の水分量(100kcalあたり)

栄養剤		水分量(ml)
食品	サンエツSA (1kcal/ml)	83.5 ml
	MEIN (1kcal/ml)	84.4 ml
	リーナレンMP (1.6kcal/ml)	47.2 ml
	MA-R2.0 (2kcal/ml)	35 ml
	PGソフト※ (1.5kcal/g)	43.7 ml
	ハイネイーゲル※ (0.8kcal/ml)	110 ml
医薬品	エネーボ (1.2kcal/ml)	67.7 ml
	エンシュア・H (1.5kcal/ml)	51.7 ml
	ラコールNF半固形剤※ (1kcal/g)	76 ml

詳しい組成は、M-netから閲覧が可能です。

《ファイル管理→栄養科→各種栄養食品の特徴→経腸栄養剤→栄養剤・流動食一覧》

※…半固形栄養剤

管理栄養士 前田朋子

表彰報告

**11月7日に開催された愛知NST研究会にて
長谷川薬剤師が最優秀発表で表彰されました！**



演題名
**「NSTリンクナース教育では
何を重点に置くべきか？」**

院内の多くのスタッフが栄養管理に関心を持って必要な知識、技術を身につけたら栄養管理のレベルはさらに上がるはずで。そのため、NSTスタッフ教育の第一歩として、院内でスタッフ数が最も多く、かつ最も患者に近い存在の看護師に今回焦点を当て、リンクナース教育計画に携わらせていただきました。今後、さらにNST活動が充実していくよう微力ながら全力で取り組みたいと思います。

薬剤師 長谷川裕矢

第7回・第8回 院内NST研修会

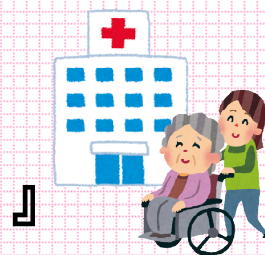
17:30~18:30
南館1階講堂

第7回 12月2日(水) / 第8回 1月6日(水)

第16回 岐阜南NST研究会

特別講演

**『これからの日本の社会における
栄養サポートのあり方』**



やまなかひではる

講師：若草第一病院 病院長 山中英治 先生

1月7日(木)18:30~20:00

南館1階講堂(MGHホール)

どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方ならどなたでもご参加下さい！！